公表

事業所における自己評価総括表（児発）

○事業所名	まんまるカチカチ		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 15日		～ 2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2024年 11月 15日		～ 2024年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達に応じた個別療育と小集団療育を毎日実施しています。	5領域に基づいた総合的な支援「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」を取り入れ、個々のニーズに合わせた個別療育に取り組んでいます。また、順番やルールのある活動を学ぶ小集団療育にも取り組んでいます。	総合的な発達支援を色々な方向から行えるように、職員同士での話し合いや情報交換を更にしつかりと行っていこうと思います。
2	その日の療育内容やできごとについて、送迎時に細かく説明をし、情報共有しています。	どんなことをしたのかが分かりやすいように担当した職員が、写真を使って丁寧に説明し情報共有しています。	写真付きの説明が好評なので、現状維持で取り組んでいこうと思います。
3	児童発達支援がメインとなっているので、同年齢のお友達と学んだり関わることができます。	個別療育や小集団療育以外の場でも、同年齢のお友達と一緒に遊んでいく中で、いろいろなやりとりやお友達との関わり方を学んでいけるように、支援しています。	療育だけではなく、お友達との遊びの中からも、更にいろいろなことを学んでいけるように支援していきたいと思います。
4	職員同士なんでも意見が言えるような風通しの良い環境を整えております。	小さな事業所だからこそ、子どもたちの小さな変化もすぐに報告・相談・共有・話し合いをし、対応できるよう取り組んでいます。	職員同士誰とでも意見交換しやすいように、日頃からしっかりとコミュニケーションをとるとともに、その場にはいない職員にもしっかりと共有できるよう心がけていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流が少ないです。	年に一回の保護者会は行っていますが、定期的に行う時間の確保が難しい。	年一回の保護者会は継続していき、回数を増やしていけるよう検討していこうと思います。
2	地域交流の機会は設けていません。	地域交流を行う時間の確保が難しい。	近隣の園と交流する機会を検討していこうと思います。
3	きょうだい児の支援は行っていますが、交流は行っていません。	きょうだい児の交流を行う時間の確保が難しい。	引き続き、きょうだい支援は行いつつ、きょうだい児の交流ができる機会を検討していこうと思います。